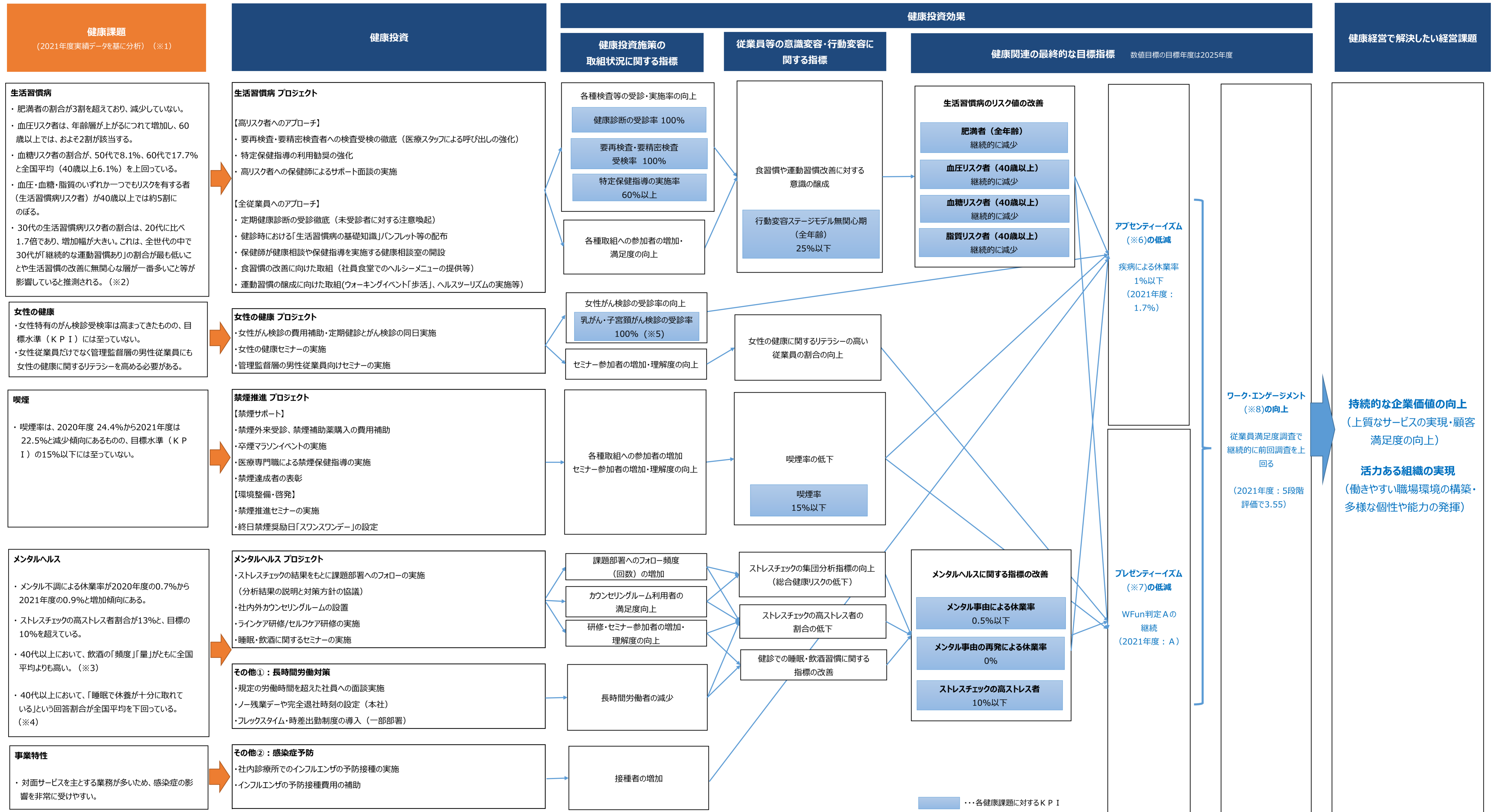


阪急電鉄 健康経営戦略マップ (2023年4月時点)



(※1) 全国平均値の出典: (肥満・喫煙)国民健康・栄養調査、(血圧・血糖・脂質・飲酒・睡眠)健保連データ、(がん検診)国民生活基礎調査
 (※2) 「継続的な運動習慣あり」割合: 10代 35.9%、20代 22.5%、30代 17.5%、40代 22.1%、50代 26.1%、60代以上 28.0%
 「生活習慣改善無関心層」割合: 10代 17.4%、20代 31.9%、30代 33.4%、40代 24.6%、50代 29.5%、60代以上 30.0%
 (※3) 「お酒を飲む頻度」に「時々」「毎日」と回答した者の割合: 当社 63.1%、全国平均 60.1% (いずれも40歳以上)
 「飲酒日の1日当たりの飲酒量」に1合以上と回答した者の割合: 当社 62.7%、全国平均 48.3% (いずれも40歳以上)
 (※4) 「睡眠で休養が十分に取れている」に「はい」と回答した者の割合: 当社 46.1%、全国平均 64.9% (いずれも40歳以上)

(※5) 子宮頸がんは20歳以上、乳がんは36歳以上の各従業員の2年間の受診率で算定

(※6) 心身の体調不良が原因で、遅刻や早退・欠勤など業務が行えない状態にあること
 (※7) 心身の健康上の問題が作用して、出勤時の生産性が低下している状態にあること
 (※8) 仕事に対するやりがいや貢献意欲